

科目名	ソーシャルワークの方法Ⅱ					単位	2.0
担当教員	平澤 恵美						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4503

●授業のテーマ

相談援助における主要なアプローチの理論と方法を学ぶ

●到達目標

- ・ ソーシャルワーク実践におけるアプローチの意義について理解する。
- ・ ソーシャルワーク実践におけるアプローチについて理解する。
- ・ 支援場面におけるアプローチの展開について理解する。

●学習内容(授業概要)

本講義では、相談援助における支援方法としてのアプローチが及ぼす利用者への影響について考え、心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ、課題中心アプローチ、危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、エンパワメントアプローチの概要について学ぶ。それぞれのアプローチがどのような形で展開されるのか、具体的な事例を用いながら理解を深める。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション ～相談援助とは～
2. ソーシャルワークのアプローチ
3. 相談援助におけるアプローチの意義
4. 心理社会的アプローチ
5. 実在主義的アプローチ
6. ナラティブアプローチ
7. 機能的アプローチ
8. 危機介入アプローチ
9. システム(家族療法)アプローチ
10. 6つのアプローチのまとめ
11. 事例を通して学ぶアプローチⅠ
12. 事例を通して学ぶアプローチⅡ
13. 事例を通して学ぶアプローチⅢ
14. アプローチの選択と利用者の自己決定
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

シラバスに記載されているアプローチについて事前に学習しておくこと。講義で学んだ内容をノートとして整理しておくこと。

●成績評価方法・基準

授業の参加状況20%、レポート40%、試験50%

●テキスト（必携）

久保紘章、副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル』川島書店

●参考文献／その他

講義時に紹介

●履修上の注意

講義で身につけた知識をもとに、グループワークでは、積極的に意見を交わす努力をしてほしい。